

令和3年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に他者と協働して取り組む活動のある授業づくりを実践し、学習習慣の定着を図る。 ・学校行事及び生徒会活動等を充実させ、生徒が主体的に取り組む姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①感染防止に努め、「学び直し」の場を確保する。基礎学力の定着と、コミュニケーション能力を伸ばし関心・意欲・態度を重視して生徒に達成感をもたせる。 ②コロナ禍でも実施可能な学校行事の形を工夫し、その活動を積極的に発信することで、生徒の自己肯定感を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関心・意欲・態度を評価する際、コミュニケーション能力を伸ばす方法を工夫する。 ②生徒会の打ち合わせを密にし、工夫して行事を実施し、広報と連携し学校のHPに新たに生徒会の項目を設け、その活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関心・意欲・態度を評価する際コミュニケーション能力を伸ばす方法を工夫したか。 ②コロナ禍で行事を実施し、広報と連携し、学校のHPに生徒会の項目を新たに設け、情報を発信できたか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の共通理解のもと、生徒の規範意識の醸成を図るとともに、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握した支援を行う。 ・部活動の活性化を図り、生徒の自己肯定感を育みながら、部活動を通して責任感、コミュニケーション能力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の個別の事情に配慮しつつ、他者への思いやりの心を育て、規律と責任ある行動をう実践できるように、社会の一員としての自覚を涵養させる。 ②コロナ禍でも実施可能な部活動と生徒会の地域連携の形を模索し、それに参加することで生徒の自己肯定感を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育相談組織と連携し、「いじめ」の早期発見に尽力する。また、生徒、保護者に「いじめ」についての正しい理解を共有してもらい、SNSの適切な利用方法を理解させる。 ②大井町と密に連絡を取り合い、実施可能な連携活動を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「いじめ」案件については未然に防止できたか。「SNSの不適切な使用」案件、年間10件以下となるよう指導・支援を行えたか。 ②コロナ禍でも連携した活動を、3件実施できたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で取り組むキャリア教育の充実を図り、生徒一人ひとりの社会性を養い進路実現を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度コロナ禍での進路支援経験を踏まえ、生徒自らが進路実現に向かう自主的な取組ができるよう、学校内外と連携し組織的な働きかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外と連携し進路実現に繋がる情報提供を充実させる。 ・就職では多数の1次応募に繋がる支援となるよう、学年団・SCC・SC・SSW等との連携を密にし、個別支援を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも生徒の主体的な学びや取組を促す情報をより早期に提供できたか。 ・特に就職では学校幹旋全員内定に向けた支援ができたか。またリモート面接についての対応ができたか。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域と学校間の連携・協働を充実し、信頼される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、中学生、保護者に対して情報発信を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ツイッターの継続を検討し、HPの生徒活動内容を増やすなど中学生に伝わりやすいよう工夫する。 ・昨年度の学校説明会実施に関わる内容を引継ぎ、運営方法や本校職員の配置を工夫する。 ・信頼関係を築き、協力を得られるよう学校行事への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新回数を増やし、生徒の様子を伝える広報活動ができたか。 ・感染対策に努めながら、学校説明会を円滑に実施し、中学生や保護者の本校への理解は進んだか。 ・保護者の積極的な関わりが参加率から見られたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な学校づくりに努め、事故・不祥事の未然防止に対する自覚を促す取組を組織的・継続的に行う。 ・教員が心のゆとりをもって生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①安全・安心な学校づくりに努め、事故・不祥事を未然に防ぐ意識を常に促し、意識啓発に組織的・継続的に取り組む。 ②長時間勤務を是正する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループが主体となる事故・不祥事防止会議を行い、職員の意識の向上を図り、事故不祥事ゼロをめざす。特に成績処理の点検作業、個人情報管理を確実に実行する。また、防災訓練や交通安全教室を通して生徒の防災や交通安全に対する意識を高める。 ②月1回のノー残業デーを設定し、月間行事予定に明示するとともに積極的に職員に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事故・不祥事防止会議等の取組により、事故不祥事ゼロを実現できたか。成績処理、個人情報の管理が適正になされたか。生徒がDIG訓練、交通安全教室に参加することで意識の向上が見られたか。 ②ノー残業デーを何回実施できたか。